

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	社会福祉 [Society Welfare]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750126	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	若宮 邦彦			学位授与の方針 との関連	DP1(2) DP2(1) DP3(3) DP3(4)		
授業概要	<p>本授業の目的は、社会福祉の理念・概念、歴史的変遷等学び、基礎理論を理解し、児童福祉の専門職である保育士としての自覚を養うことです。【態度・志向性の育成】多岐に渡る社会福祉制度について社会保障制度との関連、社会保険等、身近な生活に引き寄せながら、その仕組みを学びます。乳幼児から高齢者まで、その生活課題や支援体制(制度・理論)の展開について基礎的知識を習得します。2年次以降の関連する授業科目や諸活動を提示していきます【生涯学習力の育成】。加えて、対人援助実践として対象となる人(クライアント)との関係の在り方や支援の技術についてワーク・ショップやロールプレイ等を活用しながら学びを深めます。医療ソーシャルワーカーとして患者さんの支援、社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーにおいて地域福祉実践、熊本市要保護児童対策地域連絡協議会委員や多問題家族に対するファミリーソーシャルワーク、多機関との連携によるケアマネジメント実践に携わっていた際の内容も授業に取り入れます。また、地域包括支援センター管理者として地域包括ケアシステム構築に向けた諸活動の実践事例も紹介します。</p>						
関連する科目	履修後は社会的養護Ⅰ・Ⅱ、子ども家庭福祉、を履修することが望ましい。						
授業の進め方と方法	アクティブラーニング型授業を展開します。社会福祉の理念と各制度や専門職の役割、支援内容について講義します【知識・理論の修得】。実践家をゲスト講師を招いて現場における支援の概要や専門性について学びます。また、事例検討のワークショップにて、学びを深め専門性の理解へとつなげていきます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉とは。その理念と概要。 2. 社会福祉の発展過程と動向。 社会福祉専門職に共通する社会正義と権利擁護の理念とその萌芽、発展過程を俯瞰します。 3. 日本における社会福祉の歴史 4. 日本における社会福祉の法制度(マクロ・レベル)からみた社会福祉。 5. 諸外国における社会福祉。 事前救済事業期から近代社会福祉の実践の歴史、児童福祉法成立から今日にいたる政策の変遷。諸外国の社会福祉の発展過程や諸相を概観します。 6. 社会保障制度と社会福祉。 マクロ・レベルに着目しサービス利用の仕組みの措置制度から社会保険制度・利用契約制度への変遷の過程や内容を学びます、 7. 児童福祉の概要と専門職。関連機関及び施設。 8. 障がい者福祉の概要と専門職。関連機関及び施設。 9. 高齢者福祉の概要と専門職。関連機関及び施設。 10. 地域福祉の理論と実践。専門職と関連機関。 ソーシャルワーク実践に携わる専門職を講師として招聘し現場実践の概要や職業としての社会福祉について学ぶ。 11. 貧困対策と子どもの貧困。地域福祉の理論と実践。 子どもの貧困の実態についてデータをふまえた変遷や制度の動きを学ぶ。ドキュメントDVD視聴により地域で子どもの貧困対策に尽力する実践家の活動を理解する。 12. 社会福祉援助技術の理論と展開Ⅰ(ワーク・ショップ) 13. 社会福祉援助技術の理論と展開Ⅱ。(ワーク・ショップ) 事例を通じたグループスーパービジョンを展開し、対人援助専門職を目指す自覚を再確認します。 14. 多職種連携とネットワークの意義と課題。 複合する生活ニーズに対して保健医療福祉専門職やインフォーマルな支援者の連携のあり方やネットワークの意義について学びます。 15. 全世代・全対象対応型地域包括ケアシステムの意義と課題。 一般住民、乳幼児や障害者、高齢者にいたるまで地域福祉の観点制度や垣根を越えたソーシャルワークの理念と共生社会の意義を学びます。 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育者・保育者として社会福祉の概念、理論を正しく理解する。【姿勢・志向性の育成】 2. イメージやバイアスにとらわれることなく法制度や対象となる人や特別な配慮を要する子ども、保護者、社会的弱者への援助のあり方について理解する。【職業知識・技能の育成】 						
授業時間外の学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中に配布する資料、提示するテキストで予習・復習の箇所を提示します。 授業毎に基本テキスト配布資料を参考に20分程度の予習・復習を必須とする。対人援助専門職を目指す者として、社会福祉の意義を理解する。 2. 新聞等のマスメディアで取り上げられるテーマをピックアップし、その背景について理解する。これらのために、毎回の講義前後に指定テキスト、配布資料により20分程度の予習・復習を必須とする。 						
課題に対するフィードバック	レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。	評価方法			以下の項目に基づいて評価します。 1)学習意欲(授業中)－50点 2)小テスト及びレポート－20点 3)最終試験－30点		
テキスト	「社会福祉の形成と拡大」井村圭壯・今井慶宗編著 勁草書房。						
参考書	『よくわかる社会福祉』山縣 文治、林 浩康 編 出版社 ミネルヴァ書房。						
備考							